

## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社JFLAホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3069 URL https://j-fla.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)檜垣 周作  
 問合せ先責任者 (役職名)広報・IR・CSR室 (氏名)馬場 康尚 (TEL)03(6311)8892  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	33,699	△17.3	△1,262	—	△1,598	—	△2,040	—
2020年3月期第2四半期	40,749	70.3	252	—	134	—	153	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,435百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 203百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△48.70	—
2020年3月期第2四半期	3.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	53,095	9,434	17.0
2020年3月期	57,843	12,276	20.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,036百万円 2020年3月期 11,869百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	73,000	△9.7	△350	—	△750	—	△1,050	—	△25.06	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	41,929,936株	2020年3月期	41,929,936株
2021年3月期2Q	26,971株	2020年3月期	24,211株
2021年3月期2Q	41,904,848株	2020年3月期2Q	41,913,567株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界規模の拡大に伴い、国内外で社会・経済活動が制限される事態となり、消費活動が減退したため極めて厳しい状況にあります。また、先行きについては、経済活動が再開され一定程度回復傾向にあるものの、依然予断を許さない状況となっております。

販売事業においては、外出自粛や各自治体からの営業自粛及び営業時間短縮の要請に伴う集客数の減少に加え、大手企業をはじめとしたリモートワークの拡大等により、特に都市部においては、会食や宴席の減少も加わり、非常に厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中で、当社グループは「食のバリューチェーンのグローバルリーディングカンパニー」の達成に向けて、「新たな価値を生み出すブランド創出のための転換と販売手法の多様化」、「さらなる価値を生み出す事業ポートフォリオの構築」、「多層的な収益構造の確立と安定成長」という3つの戦略を実行しております。

具体的には、外食店舗を拠点としたクラウドキッチン型のデリバリー及びテイクアウトサービスを導入しており、直営店舗におけるデリバリー導入店舗数は2020年9月30日現在48店舗まで増加しております。今後は当社グループの直営店舗のみならず、全国のフランチャイズ店舗に広く展開をしてまいります。また、「ニューノーマル」と呼ばれる市場において、最適かつ安定的な収益基盤の構築のため事業ポートフォリオの整備をすべく、事業の選択と集中を行っております。販売事業や流通事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響が長引くことが予想されるため、回復の見込みが遅れる直営店の不採算店舗の整理や英国子会社Atariya Foods Limitedグループの寿し業態及び食品卸事業など事業再編に着手しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、生産事業が、新型コロナウイルス感染症拡大による乳製品の家庭向け需要の増加や受託加工事業が好調に推移したため増収となった一方で、販売事業や流通事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が主要因となり、それぞれ減収となったため、売上高は33,699百万円（前年同四半期比17.3%減）、営業損失は1,262百万円（前年同四半期は営業利益252百万円）となりました。経常損失は、為替差損129百万円の計上などにより1,598百万円（前年同四半期は経常利益134百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、助成金収入294百万円や投資有価証券売却益162百万円の計上があった一方で、新型コロナウイルス感染症による特別損失（休業要請に伴い発生した休業中の店舗の賃借料及び人件費等）325百万円の計上などにより、2,040百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益153百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①販売

当第2四半期連結累計期間末の店舗数は585店舗（前年同四半期比246店舗の減少）となりました。内訳は、直営店177店舗（前年同四半期比35店舗の減少）、フランチャイズ店408店舗（前年同四半期比211店舗の減少）となりました。減少の主な要因は焼肉「牛角」事業の譲渡（205店舗）ならびにブランドリストラクチャリングや新型コロナウイルス感染症拡大に伴う店舗撤退により合計246店舗が減少いたしました。既存店月次前年比売上高（直営とフランチャイズ店合計）では、第1四半期累計期間においては41.1%、第2四半期累計期間においては54.6%と、回復傾向にはあるものの、焼肉「牛角」事業の譲渡や新型コロナウイルス感染症拡大による店舗の撤退、休業等の影響及び会食や宴席の需要減少などにより、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,980百万円（前年同四半期比53.0%減）、営業損失は872百万円（前年同四半期は営業利益117百万円）となりました。

#### ②流通

株式会社アルカンにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、ホテル・レストランの休業や婚礼宴会需要の減少で業務用食材やワイン・シャンパンの販売が落ち込んだことにより、減収減益となりました。東洋商事株式会社や英国子会社においても、外食店舗やホテル向け受注の減少などにより、業績は落ち込みました。以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,424百万円（前年同四半期比18.3%減）、営業損失は333百万円（前年同四半期は営業損失82百万円）となりました。

#### ③生産

九州乳業株式会社及び茨城乳業株式会社において、乳製品取扱量が増加したことで運賃やセンターフィー及び人件費が増加したものの、家庭向け需要の増加や主要な問屋・量販店・ドラッグストア向け牛乳類、ヨーグルトなどの販売が好調に推移しました。また、株式会社弘乳舎においては、新型コロナウイルス感染症の影響により余剰乳をバターや脱脂粉乳といった製品に加工する受託加工事業が好調であったため、乳業事業全体で増収増益

となりました。一方、盛田株式会社においては、家庭用製品の販売は堅調に推移したものの、外食店休業要請の影響から業務用製品の売上が減少したことなどにより、減収減益となりました。以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,027百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は553百万円（前年同四半期比27.3%増）となりました。

④その他

店舗開発事業や介護施設運営事業等による売上があり、当第2四半期連結累計期間における売上高は267百万円（前年同四半期比786.8%増）、営業利益は35百万円（前年同四半期比151.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は53,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,748百万円減少いたしました。負債合計は、43,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,906百万円減少いたしました。

純資産合計は9,434百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,842百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失2,040百万円の計上、剰余金の配当167百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は17.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、適正かつ合理的な業績予想の算出が極めて困難なことから公表を見送っておりましたが、現時点で入手可能な情報及び予測等に基づき業績予想を算定いたしましたので公表いたします。依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期を予測することは困難な状況が続いているものの、上期実績及び足元の業績動向を踏まえ、下期は緩やかな回復基調が続くものと想定し、策定いたしております。第3四半期以降も厳しい経営環境に変わりはありませんので、販売事業及び流通事業においては、回復の見込みが遅れる直営店の不採算店舗の整理や英国子会社Atariya Food Limitedグループの寿し業態及び食品卸事業などの事業再編を着実に実施することで赤字幅の縮小を見込んでおります。生産事業においては、引き続き堅調に推移することを見込んでおります。また、全社的に固定費の削減等を行うことで緊縮経営の徹底を行ってまいります。

なお、本業績予想は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による再度の緊急事態宣言の発令は想定いたしておりません。今後の感染状況の推移や消費動向等によって、大きく変動する可能性があります。

また、2021年3月期の配当予想につきましても「未定」としておりましたが、当社は、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、経営上可能な限り最大の範囲で配当を行うことを基本方針としており、引き続き厳しい経営環境が続くと想定しておりますが、業績予想の公表等を踏まえ、期末配当予想を4円とすることといたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,017,711	5,710,699
受取手形及び売掛金	8,988,991	8,853,150
商品及び製品	4,587,108	4,403,839
仕掛品	2,256,253	2,359,793
原材料及び貯蔵品	1,061,648	1,238,515
その他	5,204,415	2,101,138
貸倒引当金	△30,593	△23,421
流動資産合計	30,085,534	24,643,716
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,035,149	9,567,943
その他(純額)	7,966,756	8,507,731
有形固定資産合計	18,001,905	18,075,674
無形固定資産		
のれん	3,457,258	3,511,029
その他	239,872	347,630
無形固定資産合計	3,697,130	3,858,659
投資その他の資産		
その他	7,020,242	7,481,460
貸倒引当金	△973,877	△974,866
投資その他の資産合計	6,046,364	6,506,593
固定資産合計	27,745,400	28,440,928
繰延資産	12,900	10,455
資産合計	57,843,836	53,095,100

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,253,259	5,977,039
短期借入金	14,630,554	12,435,032
1年内償還予定の社債	96,000	96,000
1年内返済予定の長期借入金	4,073,898	3,506,902
未払法人税等	374,341	372,298
賞与引当金	118,203	91,613
店舗閉鎖損失引当金	271,395	232,305
返品調整引当金	—	3,031
その他	4,842,857	5,109,779
流動負債合計	30,660,509	27,824,003
固定負債		
社債	1,004,000	956,000
長期借入金	9,116,520	10,149,167
債務保証損失引当金	64,476	64,465
退職給付に係る負債	814,874	778,605
資産除去債務	1,050,571	1,105,586
その他	2,856,095	2,783,179
固定負債合計	14,906,537	15,837,003
負債合計	45,567,046	43,661,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,910,363	2,910,363
資本剰余金	8,221,546	8,040,651
利益剰余金	1,332,238	△1,946,937
自己株式	△10,549	△11,530
株主資本合計	12,453,599	8,992,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,016	464,867
為替換算調整勘定	△300,987	△216,965
退職給付に係る調整累計額	△230,129	△203,703
その他の包括利益累計額合計	△584,133	44,198
新株予約権	2,840	2,840
非支配株主持分	404,483	394,507
純資産合計	12,276,789	9,434,093
負債純資産合計	57,843,836	53,095,100

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	40,749,881	33,699,500
売上原価	28,292,450	25,116,845
売上総利益	12,457,430	8,582,655
返品調整引当金戻入額	—	534
差引売上総利益	12,457,430	8,583,190
販売費及び一般管理費	12,205,253	9,845,396
営業利益又は営業損失(△)	252,177	△1,262,206
営業外収益		
受取利息	14,102	19,132
受取配当金	4,771	4,629
持分法による投資利益	—	4,205
貸倒引当金戻入額	161,810	—
その他	86,129	127,064
営業外収益合計	266,813	155,031
営業外費用		
支払利息	226,703	210,126
持分法による投資損失	17,086	—
支払手数料	51,683	100,186
為替差損	42,023	129,093
その他	47,150	51,831
営業外費用合計	384,648	491,239
経常利益又は経常損失(△)	134,342	△1,598,413
特別利益		
固定資産売却益	1,760	365
投資有価証券売却益	64,776	162,614
負ののれん発生益	302,012	37,106
助成金収入	—	294,025
その他	113,970	28,602
特別利益合計	482,519	522,714
特別損失		
固定資産売却損	53	0
固定資産除却損	3,823	4,201
減損損失	—	10,049
新型コロナウイルス感染症による損失	—	325,969
その他	296,791	391,078
特別損失合計	300,669	731,299
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	316,192	△1,806,998
法人税、住民税及び事業税	202,632	191,348
法人税等調整額	7,692	66,599
法人税等合計	210,324	257,947
四半期純利益又は四半期純損失(△)	105,868	△2,064,946
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△47,993	△23,981
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	153,861	△2,040,964

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	105,868	△2,064,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112,862	518,507
為替換算調整勘定	△1,985	84,186
退職給付に係る調整額	△13,600	26,435
持分法適用会社に対する持分相当額	555	—
その他の包括利益合計	97,831	629,128
四半期包括利益	203,699	△1,435,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,101	△1,412,632
非支配株主に係る四半期包括利益	△48,401	△23,185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。